

《高崎高校アメリカ研修1回目（2026年7月13日）報告書》

昨晚 23 時にタフツ大学の寮に到着、その後軽めの夕食と寮の案内を受け 0 時の解散となりましたが、1 名も遅刻することなく朝 7:30 分にロビーに 35 名全員集合してくれました。皆時差ボケと移動疲れが垣間見えましたがビュッフェ形式の朝食を食べました。まだクラスメイトが決まっていないのですが、カフェテリアにいる様々の国の生徒たちと話をしている光景も目の当たりにしました。その後一度寮に戻ってから今後ミーティングポイントとなるタフツ大学のマスコット“象”の前で集合写真、クラスで今週からスタートするグループと学校・寮についてのルール説明や注意事項のオリエンテーション、その後英語のレベル分けテストを実施しました、問題はスマホで QR コードを読み取り解答していく形式とスピーキング力は先生と 1:1 で会話をするというものでした。クラス分けは明日発表されます。難しかったという生徒、大体できたという生徒、長文は難しかったなど感想は様々ですが、インターナショナルのクラスが明日からスタートするのもこの研修の大きなポイントなので、たくさんの友人を作ってほしいです。今週は台湾、カザフスタン、ブラジル、イタリア、スペイン、ドイツ、ベネズエラ、ロシアの生徒が参加しているとのことでした。

昼食後、“象”前で集合、午前クラスの生徒達一緒にタフツ大学駅からグリーンラインでパークストリートで下車、フリーダムトレイルツアー（マサチューセッツ州議事堂・パークストリート教会・グラナリー墓地・キングスチャペル・オールドステイトハウス・ボストン虐殺事件跡地等）に行きました。エンバシーのスタッフがボストン建国の歴史をボストンコモンの出発地から約 2 時間説明してくれました。昨日あまり睡眠がとれていないこともあり、地下鉄の中で居眠りをする生徒が数名いました。ボストンでは日本と違いスリなどの被害を受けないよう居眠りをする乗客はほとんどいません。居眠りをしてしまわないために椅子に座らないなど工夫するよう伝えました。どんな困難な状況も今後戦って勝ち抜いていく高生であってほしいことも説明、理解してもらっていると思います。夕食は大学に戻りビュッフェ、夜のアクティビティは午前・午後のクラス合同のアクティビティでデイビス駅周辺の散策でした。1 時間 30 分のフリータイム中は CVC などでお土産、日用品で必要なものを購入していました。初日は本当に生徒全員疲れたと思うのでぐっすり眠ることができ、時差ボケ解消となるのではと思います。明日からはインターナショナルクラスでの高生の活躍を期待しています。





レベル分けテスト②



午後のアクティビティ留学生と電車の中で①



午後のアクティビティ留学生と電車の中で②



フリーダムトレイル出発地



マサチューセッツ州議事堂



ボストン虐殺事件跡地

